

2023年10月23日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について
 ～株式会社エスリンクのサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、株式会社エスリンク（代表取締役 柿本 咲年美）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日 2022年12月28日（水）
2. 融資金額 50百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

6. 株式会社エスリンクの概要

代 表 者	柿本 咲年美
本社所在地	名古屋市東区芳野一丁目6番地29号 アーバン芳野2階
業 種	障がい者支援事業
設立年月日	2014年2月5日

<記念盾贈呈式の様子>



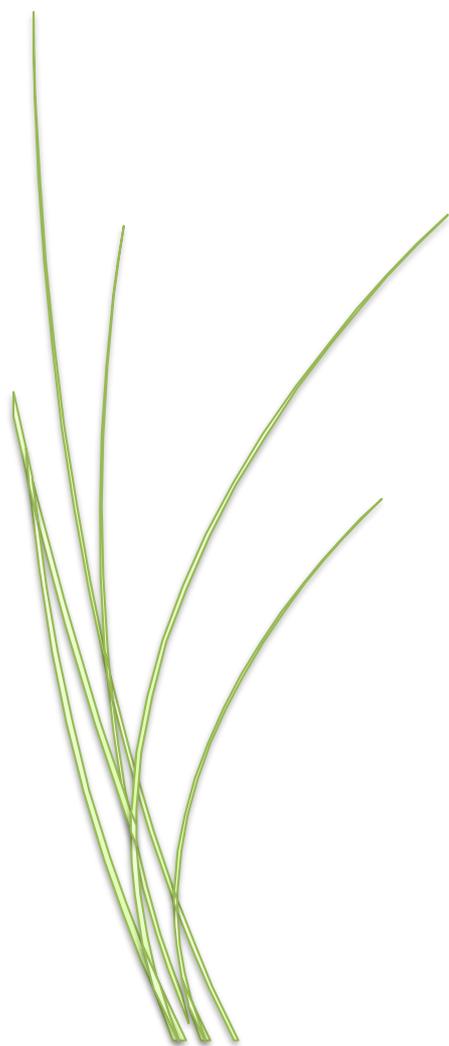
株式会社エスリンク
 代表取締役 柿本 咲年美 氏

株式会社名古屋銀行
 執行役員 兼 上前津ブロック長 兼
 上前津支店長 金森 保憲

以上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ 株式会社エスリンク ～



2022年12月26日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社エスリンクに対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社エスリンクの企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	株式会社エスリンク
所在地	愛知県名古屋市東区芳野一丁目 6 番 29 号 アーバン芳野 2 階
従業員	13 名 ※2023 年 5 月末時点
売上高	155 百万円
事業内容	就労継続支援 A 型事業、就労継続支援 B 型事業、障がい者グループホーム事業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資期間	5 年

目次

1. 企業情報	3
① 会社概要	
② 経営理念・経営方針	
2. 事業内容	5
3. その他の活動	7
① 人材育成	
② 資格取得支援	
③ イベント交流	
④ SDGs 宣言	
4. インパクトの特定	10
① インパクトマッピングによるインパクト分布	
② インパクト分布図	
③ 国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	14
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	15
7. モニタリング方法	15
8. 総括	15

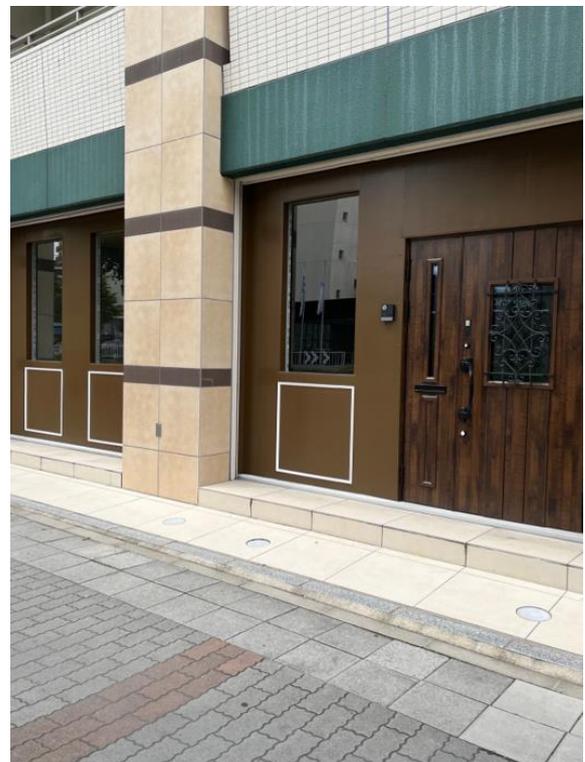
1. 企業概要



株式会社エスリンク

① 会社概要

会社名	株式会社エスリンク
設立年月	2014年2月5日
代表取締役	柿本 咲年美
本店所在地	愛知県名古屋市東区芳野一丁目6番29号 アーバン芳野2階
従業員数	57名 ※2023年5月31日時点
決算日	7月末日
関連会社	株式会社KAKISAKI HOLDINGS 株式会社ZONNE



② 会社理念・経営方針

会社理念

多様性の時代、仕事を創り、
人生を楽しみ、共に未来を生きる企業

【経営方針】

- 障がい者に就労を通じで社会から必要とされる人材を育成する
- 多くの雇用を創出し社会に貢献する
- 仕事を楽しいと思えるサポートをする

当社は、多様な働き方を選べる時代において、「仕事」に「人」を合わせるのではなく、「人」に合わせた「仕事」を創出し、働く機会を提供することで、関わる人々（ステークホルダー）の人生を豊かにし、また企業としても成長を果たしていきたいとの思いがある。

従来の考え方に捉われることなく、経営理念・経営方針に基づいた企業運営と人材育成により、今後とも社会貢献に努めていく方針である。

2. 事業内容



当社は主に、利用者が「従業員」として働きながら一般就労を目指すためのサービスである就労支援A型事業、就労継続支援B型事業や、生活上のサポートを行いながら自立支援を行う障がい者グループホーム事業に従事している。

一般企業に就労することが困難な障がいのある方に、知識および能力向上のために必要な訓練を行い、当社サービスを通じて、最終的には一般企業へ就労できるようなサポートを行っており、就労支援A型については雇用契約を結ぶため給与や雇用環境の保証といった安心の提供も行っている。

また、地域社会や商店街との連携をとることで地域社会へ貢献していくことも大きな目的としており、地域住民へのサービスや、関りをつくっていくことで、仕事の意味を「感謝」という形で感じてもらうことを目的として事業を展開している。

【仕事内容】



手作り製品

- ① 縫製 : エプロン・ワンピース・アパレル製品の企画制作及び販売など
- ② 清掃業務 : 提携店舗内の清掃・洗濯など
- ③ クリーニング : クリーニング店での業務の受付・店舗内作業など。
- ④ 軽作業 : 封入作業やラベル貼り、DMや試供品、ノベルティなどの準備の際に発注する、封入・封緘作業、折り加工、ラベル貼り、ホッチキス止め、包装業務など
- ⑤ 引っ越し作業 : 引っ越しに伴う家具・家電等の移設・運搬
- ⑥ プログラミング : HPやアプリの制作、システム構築等

【当社の強み】



IT人材育成のためのOJT



手話による対応

●障がい者に対するの豊かな経験の経営者とスタッフ

当社は就労継続支援事業所として、数年にわたり精神・知的障がい者の就労・就職支援をおこなう社会福祉事業を営んでおり、代表者をはじめ、スタッフは精神保健福祉士、介護福祉士等、サービス管理責任者等、豊富な経験と知識を有し、障がい者に対して安心安全な十分な指導や対応が可能な体制が整っている。

●他で対応できない重度障がい者に対応する能力

比較的、重度障がい者を敬遠する同業他社が多い中、当社は分け隔てなく軽度から重度の障がい者の方々を幅広く受け入れる体制・能力を有している。特に重度の精神・知的障がい者の受け入れ、また、それに対応できる能力のあるスタッフが揃っており、地域に求められている社会貢献を実現している。

●福祉事業ネットワークによるサポート

当社は地元の医療機関を中心に構築された幅広いネットワークにより、利用希望者の受け入れやケアの体制が整備され、安定した事業運営が行えている。

3. その他の活動

① 人材育成

【人材育成の基本方針】

- ・障がい者に就労を通じて社会から必要とされる人材を育成する
- ・地域住民へのサービスや関わりを作り仕事の意味を感謝という形で感じられる人材を育成する

事業の成長ならびに地域社会の発展のために、最も重要だと当社が考えていることの一つに人材育成が挙げられる。

明確に打ち出している上記の「人材育成の基本方針」は企業文化として醸成され、目標達成のために従業員・利用者が一丸となって進むことができるような体制が構築されている。

② 資格取得支援

当社には精神保健福祉士、介護福祉士、看護師等の国家資格を保有している従業員が多く在籍しており、専門的な知識・経験をもって日々の業務に対応している。

加えて、当法人では従業員の更なる知識向上のために、「労働者に対してキャリアコンサルティングを入社から5年ごとに行う。そのために必要な経費は、会社が全額負担する。」と定めており、資格取得や外部研修受講を支援することで、従業員の意欲を後押ししている。

【資格保有者数一覧】

資格名	取得者数（重複者含む）
精神保健福祉士	1名
保育士	1名
介護福祉士	2名
看護師	4名
ウェブデザイン技能検定3級	2名
介護職員初任者研修修了	12名
サービス管理責任者	4名
合計	26名

③ イベント交流



2021年5月と12月に、利用者の幅広い人材交流と活力向上を目的として、韓国の同業企業に所属する利用者とE-Sportsで対戦する国際大会を開催した。目標に向かって試行錯誤し、成長を実感できる場を提供できたことで、参加者を含む利用者より好評を得ている。

本イベントを通じて、日々の生活に対する大きな刺激と達成感を感じてもらうことで、結果として人材の育成、および更なる組織活性化に繋がった取組みの一つである。

④ SDG s 宣言



株式会社エスリンク SDG s 宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDG s）」に賛同し、SDG s の達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2021年3月1日

株式会社エスリンク 代表取締役 柿本咲年美

🌸 — SDGs の達成に向けた取組み — 🌸

働きたい前向きな想いを

「就労支援 A 型」を通じて、働きたいという前向きな想いを実現するため、自分にできることを一緒に考え、多くの方々が働き・経験をすることの喜びを感じれるよう、持続的な就労をサポートしてまいります。

■ 具体的な取組み

- ・服飾の企画や販売サポート
- ・軽作業のサポート



障がいの有無に関わらず皆一緒

教育を通じた共生社会を実現するため、「インクルーシブ教育」を広めることを通じて、全ての人たちの居場所を見つけ、一人ひとりがお互いに向き合い、手を取り合える環境を創造してまいります。

■ 具体的な取組み

- ・利用者のレベルに合った社内研修の実施
- ・一般就労を目指すための訓練実施



自分の望む人生を

就労を通じて、自分の望む生活や人生を実現するため、やりたいこと・なりたいことを思い描き、共に分かち合い寄り添っていくことにより、誰もが安心できる自立した生活を確立してまいります。

■ 具体的な取組み

- ・プログラマーの育成
- ・定期面談によるフォローやケア



その人らしい暮らしを

誰もがその人らしく、安全と安心のある地域での暮らしを実現するため、行政と一緒に地域施設・地域サービスの充実に取組み、誰一人取り残されることのない地域環境を具現化してまいります。

■ 具体的な取組み

- ・地域商店街との連携
- ・地域住民との意見交換



SDGsとは

2019年9月、国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催されました。

その成果文書として「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が加盟193ヶ国の全会一致で採択され、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）」が掲げられました。

SDGsは17の目標と169のターゲットから成り、2030年までにこれらの目標を達成するために、企業の参画・貢献も期待されています。



当社は事業活動を通じて、利用者の働きたいとい前向きな思いの実現や、自立した生活などの支援を行い、健全で平等な社会の実現に貢献している。従業員・利用者に対してインクルーシブ教育による成長と、安全・安心な暮らしを実現するための環境づくりを宣言しており、今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、SDG s 宣言と共通した分野でのKPIを設定する。

4. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社エスリンクの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社エスリンクの業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社エスリンクの事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。

川上・川下の事業活動については、一般個人が対象または事業規模に対してインパクトが僅少であるため、特段の分析は不要と判断し、検討対象からは除外している。よって、株式会社エスリンク自体の事業に関するインパクト分析のみ行うものであるが、分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

②インパクト分布図

・当社の事業

インパクトカテゴリ	同社事業							
	【 8720 】		【 8730 】		【 8790 】		【 8810 】	
	知的障害、精神衛生及び物質乱用者用居住ケアサービス業		高齢者・障害者用居住ケアサービス業		その他の居住ケアサービス業		宿泊施設のない高齢者・障害者向け社会事業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）								
食料								
住居	★		★		★			
健康・衛生	★	★	★	★	★	★	★	
教育								
雇用	★★	★	★★	★	★★	★	★★	★
エネルギー								
移動手段								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障	★	★	★	★	★	★	★	
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）								
大気								
土壌								
生物多様性と生態系サービス								
資源効率・安全性								
気候								
廃棄物		★		★		★		★
包括的で健全な経済								
経済収束								

当社の事業におけるインパクトについては上記の通りであり、『住居』『健康・衛生』『雇用』『人格と人の安全保障』についてポジティブインパクトが確認された。

利用者が生き生きと働ける環境を整備し、また社会的弱者に対して雇用を創出するだけでなく、人材育成により能力・意欲の向上にも貢献することで『健康・衛生』『雇用』『人格と人の安全保障』のカテゴリに大いに貢献をしている。

さらに、利用者同士が共同で生活を送る障がい者グループホームにおいては、コミュニケーション能力

の醸成と、安全・安心な暮らしの提供という面で『住居』『健康・衛生』『雇用』のカテゴリに寄与している。

愛知県としても、第5次福祉計画においては「グループホーム等の充実及び地域支援拠点等の整備を図り、施設入所等から地域生活へ移行を推進します」「障がいのある人が安心して暮らせる支援システムづくりを進めます」等の基本的な考えが出されており、これらに対応している当社事業は社会的需要が特に高い分野であると言える。

一方で、ネガティブインパクトについては、『健康・衛生』『雇用』『人格と人の安全保障』『廃棄物』の分野で確認された。

今後とも経営理念・経営方針に即した企業運営を行い、前向きに働ける環境を維持していくことで『健康・衛生』『雇用』『人格と人の安全保障』のカテゴリを害するリスク回避に努めるとともに、廃棄物関連の法令順守と適正処理等を行うことでネガティブインパクト縮小を図っていく。

5. 測定するKPI

① 雇用創出への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」
関連するSDGs	  
対応方針	社会的に必要とされる人材の育成、平等な雇用の創出
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2028年までに年間利用者数を150%増加させ、地域社会の新たな雇用創出に貢献する（実績開示） ・正社員として年間2名以上の新規雇用（実績開示）

② 労働環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	誰もが働きやすい職場環境の整備
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時間ゼロを維持する（実績開示） ・女性の管理職数を4名から6名にまで増員する（実績開示） ・育児休暇取得率100%の達成（実績開示）

③ 環境への配慮

項目	内容
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」
関連するSDGs	
対応方針	CO2排出量の削減
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2028年までに社用車の全てを電気自動車またはハイブリッド車へ切り替える（実績報告）

6. インパクトの管理体制

株式会社エスリンクは柿本社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、代表者が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 柿本 咲年美
-------	--------------

7. モニタリング方法

株式会社エスリンクに対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

株式会社エスリンクの事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社エスリンクが KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。